



The Supporters Times

サポーターズタイムズ



衆議院議員 秋葉賢也 政策・活動レポート

難病への支援を拡充

世界有数の長寿国になった日本において、健康で長生きすることは誰もが願うことですが、その一方で持病を抱えたり、原因不明の病気で苦しんでいる人も少なくありません。これまでとりわけ「難病の患者」や「小児慢性特定疾病児童」への医療費負担の軽減を拡充してきました。現在、指定難病（①発病の機構が明らかでないこと、②治療方法が確立していないこと、③希少な疾病であること、④長期の療養を必要とすること、⑤患者数が本邦において一定の人数に達しないこと、⑥客観的な診断基準が確立していること、の全ての要件を満たすものとして、厚生労働大臣が定めるもの）の患者数は105万人おりますが、患者の所得に応じて、医療費助成（毎月の自己負担額は0円～最大で3万円）を行っています。

十数年前になりますが、私が厚生労働副大臣に就任し、最初に取り組んだ閣法は予防接種法の改正でしたが、次に「難病の患者に対する医療等に関する法律案」（「難病法」）をとりまとめ平成26年5月に成立させ、翌年1月に施行されました。

難病法では、難病患者の良質かつ適切な医療の確保、療養生活の質の維持向上を図ることを目的とし、(1)基本方針の策定

(2)難病に係る新たな公平かつ安定的な医療費助成の制度の確立、(3)難病の医療に関する調査及び研究の推進、(4)療養生活環境整備事業の実施について規定し、施策の充実を図ってきました。

従来は治験研究費の枠組みの中で細々と難病患者などへの医療費助成を行ってきましたが、対象疾病の数も限られており、助成も不十分だったことから、医療費助成制度を確立し、指定難病の患者の医療費の負担軽減を図るとともに、患者データを効率的に収集し治療研究を推進するため、治療に要した医療費の自己負担分の一部を助成できるようにしました。

通常、医療機関の窓口では、医療費の7割を医療保険が負担し、残りの医療費の3割を患者が自己負担することになっていますが、医療費助成の支給認定を受けた場合は、指定医療機関での窓口負担が、自己負担上限額（月額）までとなります。他方、自己負担上限額と医療費の2割を比較して、自己負担上限額の方が上回る場合は、医療費の「2割」が窓口での負担額となります。

医療費助成の対象となる疾病は、難病法施行前の旧事業では56疾病と限られていましたが、難病法施行後は110疾病となり、半年後の7月には306疾病、平成6年4月時点で341疾病まで拡大してきました。小児特定疾病児童への医療費助成についても、対象疾病を788疾病（16疾患群）にまで拡充してきました。

世界に誇れる国民皆保険制度の中で、このような難病の枠組みに入らない、支援対象から漏れた患者でも、高額療養費制度で自己負担の限度額を定めて支援してきました。これからも国民の安全安心のために、しっかりとしたセーフティネットを拡充して参ります。

衆議院議員
消費者問題特別委員長

秋葉賢也

確かな実現力! 秋葉賢也は走り続けます!!

秋葉消費者問題特別委員長 Active Photography

食品ロス削減に取り組む『株式会社クラダシ (Kuradashi)』を視察



食品ロス削減に特化したビジネスを展開する『株式会社 クラダシ』本社(品川区)を訪問。日本では、年間472万トンもの食品ロスが発生しており、人ロー人当たりの食品廃棄物発生量は、世界6位に位置しています。

『(株)クラダシ』では、食品ロス削減に特化したビジネスモデルを確立。食品ロスとなる可能性のある商品を抱えるサプライヤーと消費者をマッチングさせるプラットフォーム「ソーシャルグッドマーケットKuradashi」を運営し成長しています。取扱商品数3,300、パートナー企業数は1,700社と拡大しているそうです。

同社の取組 食品の廃棄原因(規格外、1/3ルール(製造日から賞味期限までの期間を3等分し、最初の1/3を超えると賞味期限が残っていても廃棄される可能性がある商習慣)、季節商品)で、一般の販売ルートでは扱ってもらえない食品を『Kuradashi』に出品し、食品ロス削減へ大きな貢献を果たしています!

ファンケル三島工場を訪問

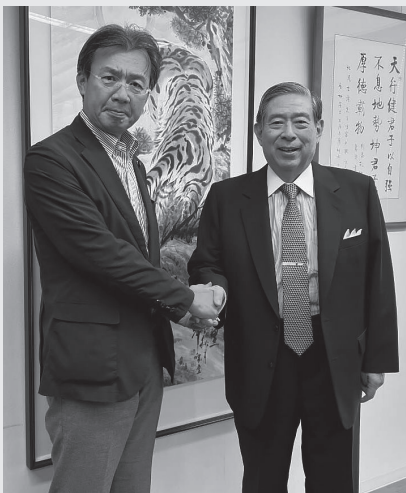
安全で高品質のサプリメント生産に精力的に取り組まれている『(株)ファンケル』。同社のサプリメントの基幹工場である三島工場を視察。1日の生産能力は最大1,085万粒(3.1トン)、アルミ袋60,000袋で、47品目、パルク数23品目を生産しています。

錠剤選別機や高速分包機も最新鋭の機器を使用し、GMP(Good Manufacturing Practice:医薬品製造管理及び品質管理基準)に基づく厳格な品質管理を徹底させており、医薬品の生産も可能なレベルにあると、伺いました。

国内の機能性表示食品は約7,000件(2023年5月末時点)、事業者数は約160社を数えます。視察後、秋葉委員長は「現在、届け出のみになっている「機能性表示食品」については、健康被害を防ぐ為、国の審査を必要とする「特定保健用食品」のように、国の規制等を検討することが必要ではないか」と述べていました。



宮城県大衡村での半導体工場の建設と着実な稼働を国政からサポート



SBIホールディングスの北尾会長とご面会し、大衡村の半導体工場建設に向け、要望いたしました。SBIホールディングスは大衡村への半導体工場の建設と展開を進めており、2027年度中には生産開始予定です。

更に、北尾会長は、「台湾有事に備え、日本に進出したいと考えている台湾企業数は多く、東北に新たなビジネスエコシステムをつかっていく必要がある」との言及もありました。ご面会后、秋葉代議士は、「PSMCとの合弁会社JSMCの資本構成の見通しや事業計画の進捗状況などについて伺う中で、北尾会長のこの事業にかける意気込みや熱意がストレートに伝わってきた」と感想を述べた後、宮城選出の国会議員として、地元・東北大学との連携強化をサポートしながら、半導体工場の成功に必要な国の半導体政策の立案を主導してゆきたいと意気込みを語っておりました。

投資額約1兆円、経済効果約4兆円を見込む国家プロジェクトでもあり、成功に向けて力強く推進して参ります。

ふるさと発展のため

いよいよ10月からスタート!

支給開始は、
今年12月分から
となります



異次元の子ども・子育て支援制度

子育てへの経済的支援強化と教育の授業料減免拡充

	現状(支給回数 年3回)	2024年12月支給開始 (支給回数 6回・偶数月)
0~3歳未満	1万5千円	1万5千円 (第3子以降 3万円)
3歳~小学生	1万円(第3子以降1万5千円)	1万円 (第3子以降 3万円)
中学生	1万円	1万円 (第3子以降 3万円)
高校生	無	1万円 (第3子以降 3万円)
	無	22歳まで継続支給

*所得制限 有

*所得制限 無(全員支給対象)

2024年10月から

お近くのお問合せ窓口

仙台市児童手当コールセンター ☎0570-008-363

(受付時間: 8:30~18:00/ 土日祝含む) (コールセンター利用可能期日:令和7年3月31日迄)

出産支援

- **出産応援金** 妊婦(届出必要)1人につき ⇒ **5万円** 【申請期限】妊娠期間中
出生後、児童1人につき ⇒ **5万円** 【申請期限】対象児童が生後6か月を迎える前日迄
- **出産育児一時金の大幅引上げ** 42万円 → **50万円** (2023年4月より実施中)
*注意) 出産日の翌日から2年過ぎた場合、出産育児一時金の申請は出来なくなります。
- **2026年度~ 出産費用への保険適用の導入**

児童扶養手当(ひとり親世帯が対象)

- 満額受け取れる年収上限の引き上げ 現在の上限 年収168万円未満 ⇒ (令和7年1月以降) **年収190万円未満**
- 所得に応じ減額しての支給が受け取れる年収上限の引き上げ
現在の上限 年収365万円未満 ⇒ (令和7年1月以降) **年収385万円未満**

教育の無償化

- **幼稚園・保育所(3歳~5歳)の無償化(ご世帯の所得、利用料額に関わらず無償!)**
*仙台市では令和元年10月1日より幼児教育・保育の無償化が実施されています!
- **高校の授業料の減免措置(約8割の世帯が実質無償)**
→(公立高校) **年収910万円以下の世帯の学生** *公立で授業料年間11万8千円が免除(実質無償)
→(私立高校) **年収590万円以下の世帯の学生** *私立では授業料年間39万6千円が減免(実質無償)
*年収590万円以上620万円未満の世帯で宮城県内の私立高校に通う学生
⇒宮城県就学支援金制度により私立高校の授業料年間11万8千円が免除
- **大学の授業料の無償化**
2024年度~ **世帯年収600万円以下の多子世帯の学生・理工系や農学系の学生** ⇒ **授業料減免拡充**
2025年度~ **事実上、多子世帯の大学生の授業料の無償化へ!**
多子世帯の学生の授業料 ⇒ (所得制限無し) **国公立 54万円 私立 70万円支給**
- **親の就労の有無に関わらず、子どもを預けられる「こども誰でも通園制度(0~2歳)」の創設**(保育所認定こども園)
* 1か月あたりの利用時間**10時間**まで、子どもの通園料は仙台市内の場合1人1時間**300円**(※例外あり)

共働き子育て世帯への支援

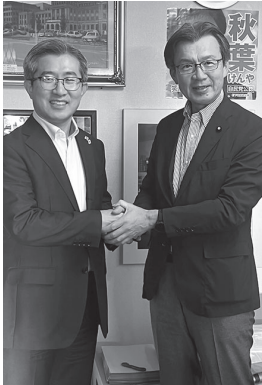
- **育休給付の給付率引上げ** 現在:休業前の手取り収入の8割 ⇒ **2025年度~ 10割**
- **育児時短就業給付** ←2歳未満の子を養育する為、時短勤務中に支払われた賃金額の**10%**を支給

秋葉賢也代議士

Active Photographs

アクティブ **8月** フォトグラフ

大韓民国駐仙台 金要燮総領事が仙台事務所に来所



仙台領事館が建っている場所は、もともと宮城県議会議員の宿舎として使用していたものを、老朽化もあり取り壊して韓国政府にお譲りしたもので、当時、県議会議員として関わりました。ユン大統領にかわってから日韓関係にも改善の兆しが見られますが、ともに未来志向で課題解決に取り組んでいきたいものです。

宮城県難病相談支援センターおよび 仙台市難病サポートセンターでヒアリング

難病法は代議士が厚生労働副大臣時に成立された法案で、当初の指定難病数は56疾病でしたが、現在341疾病まで拡充しました。小児慢性特定疾病児童への医療費助成制度から、成人になり、難病法に基づく対応などに移行する時にスムーズにいかない場合があることや、障害者の法定雇用へ難病も追加してほしいという要望をはじめ貴重なご意見を頂きました。今後もしっかり反映して参ります。



【無料電話相談】 お気軽にご相談ください

宮城県難病相談支援センター ☎022-212-3351
仙台市難病サポートセンター ☎022-796-9131
▶平日 10:00~17:00 ▶休日 11:00~16:00

消費生活相談、暮らしの情報提供は
仙台市消費生活センターへご相談ください。

YouTubeチャンネル動画配信中心!

消費生活のトラブルは **ひとりで悩まずすぐ相談**

消費者ホットライン ☎188

仙台市消費生活センター

消費生活相談ダイヤル ☎022-268-7867

秋葉賢也事務所
〒981-3121 仙台市泉区上谷刈4-17-16
Tel 022(375)4477 Fax 022(375)0057
www.akiba21.net 購読料 年額10,000円 自由民主党宮城県第二選挙区支部

タウンミーティング

(国政報告会)

- 9月27日(金) 19:00 **若林区** 連坊コミュニティセンター木ノ下別館 (木ノ下1-23-23)
- 9月28日(土) 17:00 **泉区** 根白石市民センター (根白石字杉下前24)
- 9月28日(土) 19:00 **宮城野区** 岩切市民センター (岩切字三所南88-2)
- 9月30日(月) 19:00 **泉区** 南光台コミュニティセンター (南光台7-1-33)

※感染予防対策等に留意して実施します。

約30年ぶりにアイリスオーヤマの 角田工場を視察

かつてはプラスチック製品の主力工場でしたが、今では、パックご飯や切り餅、マスクの工場になっています。プラスチック製品や家電などに加えて扱う食品も多くなっており、年に100以上のアイテムが商品化され、総計25,000点に及ぶそうです。わが家でもアイリスの商品は10点以上ありますね。



産業技術総合研究所東北センター訪問



全国に12ヶ所ある研究拠点のひとつで、社会課題解決と産業競争力の強化をミッションに設置された経産省所管の国立研究開発法人です。7つの研究領域を持ち、わが国最大級の公的研究機関としての総合力を活かして、新たなイノベーションの創出に貢献してきました。東北センターの看板テーマは資源循環技術で、化学プロセス研究部門などを視察しましたが、ここでの成果が具体的な製品やサービスとして確実に社会実装されるよう益々期待されます。

~ kenya's PLOFILE ~

- 昭和37年7月3日宮城県丸森町生まれ。寅年・蟹座・A型・180cm・70kg。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了(法学修士)、同法学研究科博士課程後期満期退学。
- (財)松下政経塾卒塾(第9期生 宮城県初)を経て、宮城県議会議員(3期)、総務大臣政務官、厚生労働副大臣および復興副大臣、衆議院環境委員長、内閣総理大臣補佐官、復興大臣・福島原発事故再生総括担当を務める。現在、衆議院議員(7期連続当選)。
- 母校の中央大学商議員や保護司を務める。東北医科薬科大学講師、宮城大学講師、仙台青葉学院短期大学講師などを歴任。

※ **お願い** 本紙「サポーターズタイムズ」を是非ご購読ください
⇒ お申込みは仙台事務所までお電話を !!

ハガキや切手、コピー用紙などを、是非、カンパ下さい!!